迎春

大阪府保険医協同組合理事長
中村 厚

新年、明けましておめでとうございます。

昨年11月には、懸案のレセプトオンライン請求義務化問題も改正省令によって当面は実質の手挙げ方式となりました。自公政権が倒れ、民主党連立政権誕生と我われの強力で粘り強い運動の成果といえるものと考えます。

新政権の誕生で毎年2200億円の社会保障費削減は見直され、診療報酬の引き上げも厚労省側からは伝わってきますが、財務省の強い抵抗があって結末は未確定です。我われ診療所の経営状況は毎年悪化する一方で、府民のために質の高い安全安心の医療を提供することが極めて困難となってきています。

協同組合では組合員の医院経営に少しでも貢献できるように、安価で良質の医薬品、医療材料を中心に様々な商品、サービス、各種保険などの提供を心がけています。

昨年10月11日～12日に開いた第32回協同組合まつりには、一昨年とほぼ同じ約3千人の来場者がありました。高石ともやさんの演奏をはじめ、WITH YOU LIVEのイベント、特売場での各種商品の申込み、その他医科・歯科機器、生活関連、住まいのコーナーなど賑やかな2日間となりました。アンケート結果を踏まえ、さらに組合員のニーズに応えるべく次回の企画を検討する予定です。

保険医協同組合は、医師・歯科医師と府民のみなさん、医療関連業界の方々、広範な分野で活躍されている人々との連携を大切にしつつ、府民の健康と開業医の「経営を守る」事業をさらに発展させていく所存です。そしてM&Dネットワークを通じた他府県の購買事業の発展も進めていきたいと考えています。組合員の先生方のご指導ご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

春夏秋冬

国民と連帯し新たな運動を

歯科医療格差

格差社会が進行し、歯科医療にも格差が生まれている。

全日本民主医療機関連合会歯科部が作成した『歯科酷書（速報第3版）』によると、30代で非正規社員の夫、20代の妻、0歳～7歳の子どもが4人いる7人家庭では、夫の欠損歯が12本、仮歯で治療中断し、妻は欠損歯1本、う蝕が6本もある。子どもたちもひどい状況で6歳と4歳の子らが二人ともう蝕が14本あり、3歳の子もう蝕が12本と口腔内が崩壊状態である。経済的理由から歯科受診がままならず、口腔崩壊状態に陥っている。

労働の強化によって口腔内が崩壊している例も紹介されている。

朝6時から夜11時まで仕事で25年間勤めた会社を突然リストラ、時間が出来たため歯科受診した。この男性は40代で奥歯の冠は不適合状態、う蝕が14本と咀嚼機能が低下した状況だった。建設会社に勤める30代の男性は、土曜も仕事のため受診できず残存歯23本のうち、う蝕が16本もある状況である。

『歯科酷書』によるとたった3カ月で同様の事例が85例も集約されたという。まさに口の中から社会が見える、格差社会が口腔内に広がっている。少子高齢化社会を迎えるなか、全身疾患と歯科医療のかかわりの研究や訪問歯科診療のニーズなど、歯科医療の重要性はますます広がっている。

こうした現状に応えて、協会は「歯科保険医療を守り発展させる大阪の会（準備会）」を立ち上げた。この会は、誰もが、いつでも、どこでも、安心して歯科医療が受けられる体制を実現するため、患者負担の引き下げや歯科の保険給付範囲の拡充を目指す国民・患者と歯科医療従事者が一体となった団体である。同様の会は全国で既に活動しており、全国連絡会をはじめ、東京、愛知、兵庫などで定例宣伝や学習会、健康教室など様々な活動を通じて、国民・患者とともに歯科医療の問題を共有しながら改善の運動を進めている。

保団連・協会などで取り組んだ「保険で良い歯科医療」を求める患者請願署名は、全体で約22万筆以上を集約し、地方議会で「保険で良い歯科医療」を求める意見書の採択状況では、6県議会・399市町村議会で採択されるなど広がりを見せている。

昨年は新しい政権が誕生し、次期改定においては「充実が求められる領域の視点」に歯科医療が位置づけられるなど、運動を強めれば響くといった状況も開かれている。新しい年を迎え、歯科医療従事者と国民・患者が一体となった歯科医療改善の新しい運動を発展させる年にしよう。

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

第2回「男の料理教室」

日程 2010年1月23日（土）午後5時～8時
会場 クレオ大阪中央 クラフト調理室（地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩3分）
定員 20人（先着順・要申込） **参加費** 2千円
講師 富永千嘉氏（土井勝の料理教室講師）
持ち物 エプロン・筆記用具
献立 大根とつくねの煮物、炒めなます、けんちん汁、さつま茶巾
※女性の参加も大歓迎です

パソコン記帳講座「弥生会計を使った決算準備」

日時 2010年1月23日（土）午後2時30分～5時30分
会場 京橋ケースメソッド・弥生カレッジCMC（JR「京橋」駅南口から徒歩3分「大発ビル」）
講師 柄溝宗生税理士（協会顧問税理士団）
会費 会員・家族1人につき5千円 **定員** 25人

生涯研修・新春特別講演「メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病」

日時 2010年1月24日（日）午前10時～午後1時
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
定員 100人
講師 西村英紀氏（広島大学大学院医歯薬学総合研究科健康増進歯学教授）
会費 会員無料、未入会者1万円

新規開業医講習会「新規個別指導対策」

日時 2010年1月31日（日）午前10時～正午
会場 保険医会館 **定員** 50人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
※『カルテ記載を中心とした指導テキスト』をご持参ください
※希望者には個別相談を行います

2月度生涯研修「歯科治療と患者心理、催眠誘導法」

日時 2010年2月21日（日）午前10時～午後1時
会場 M&Dホール（保険医会館東隣り）
定員 100人
講師 齋藤稔正氏（立命館大学文学部教育・社会系心理学、実験系心理学教授）
会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。